

三重県伊賀市で野生いのししから CSF(豚熱)ウイルスを確認！

京都府に隣接する三重県伊賀市において、4月8日に野生いのししからCSF(豚熱)ウイルスが確認されました。3月11日に伊賀市で初めて確認されてから3頭目の陽性事例です。

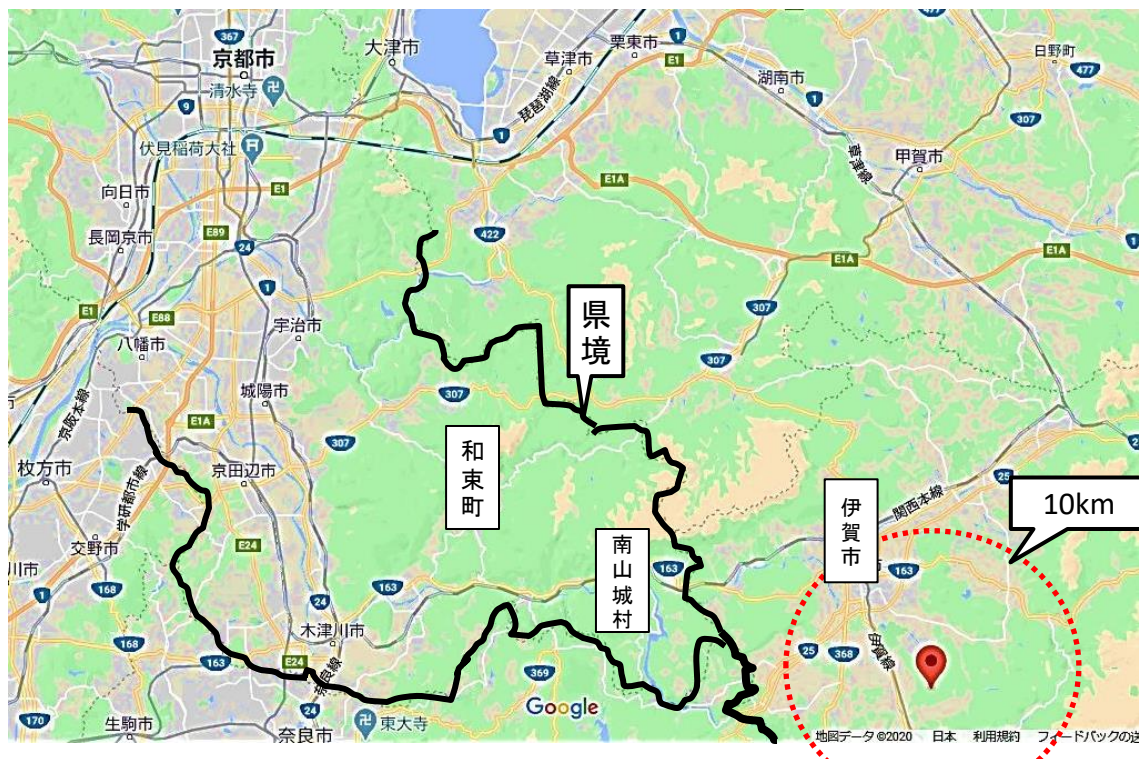
飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策を確実に実施してください。

【三重県における野生いのししでの確認状況（府県境から約12km）】

4月4日 伊賀市沖の調査捕獲にて捕獲、雄、約15kg

4月8日 検査にてCSF(豚熱)陽性

※令和元年6月に、三重県いなべ市の野生いのししでCSF(豚熱)確認以来、三重県では58例目の確認



- ▶ 毎日の健康観察と異常家畜（耳・下腹部・四肢の紫斑、結膜炎、複数頭の40℃以上の発熱、便秘又は下痢、食欲不振など）の早期発見・早期通報をお願いします。
- ▶ 豚熱の発生を防止するためには、人や物を始め野生動物などによって飼育環境にウイルスが持ち込まれないことが重要です。
 - ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒の徹底
 - ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴の着用
 - ☑ いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止
 - ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料の加熱給与（70℃以上30分以上または80℃以上3分以上）